

学園だより

Vol.76

2005.3
Nara Women's
University



早春風景(中川忠喜学生生活課長)

シリーズ 情報と人間を考える _____ 1
中世ヨーロッパの『健康書』

山辺規子

現在・過去・未来をつなぐ _____ 3
形について 奈良女子大学、この30年

大野道邦

数学教室の思い出

山本邦彦

寿命のつづく限り

山口博史

ならサロン

高木由臣

この道や 旅人一人 春の朝

澤井 勝

西村一朗(市路)

寄稿 私のチャレンジ _____ 7

南葉菜子・濱田けい子・鳥居佳代

卒業生からの寄稿 _____ 10

ウラン鉱山を訪ねて……………岸 忍
新たな道へ……………酒井裕子

佐保会だより _____ 12

就職内定状況について _____ 13

課外活動サークル紹介 _____ 15

学生生活案内 _____ 19

「廣岡奨学金」について
「日本学生支援機構奨学金」について
学生相談室から
学生表彰

中世ヨーロッパの『健康書』

山辺 規子

文学部 教授
国際社会文化学科 比較歴史社会学講座



NORIKO
S. YAMABE

いつの世も、どこでも健康に過ごすための情報は、人間にとって大いなる関心事である。本屋に山のように積まれた健康本、テレビ番組にあふれる「健康によい食べ物」といった情報の氾濫は、まさしく情報化社会における健康への関心の高さを示している。

ところで、中世ヨーロッパといえば、しばしばキリスト教が生活のあらゆる側面を規定していたとされ、人間がいかに健康に生きるかなどということが議論されたように思われていないようである。たしかに、現代に比べれば「いかに生きるか」ではなく、「いかに死にいたるか」を考へていたことは否定できない。しかし、現代の日本のように「死」が日常生活から遠い存在であることの方が史上稀なのであって、戦争、大きな自然災害、疫病の流行など、「死」を考えないわけにいかない世界にあつては、それも当然だろう。

中世ヨーロッパにおいても「死」を思うだけでなく、「いかにすれば健康に生きるか」が意識されたこともまた事実である。医療が発達しているとはいえない世界において、医者がまずなすべきことは、人々が身にあった生活を送り、フランスのとれた健康状態を維持できるようにアドヴァイスをすることである。それでも望ましい健康状態にならないときに、薬を与える。それでもうまくいかなければ外科的

処置をおこなうとされた。

このような考え方は、西洋医学の父ヒッポクラテス以来のものである。中世ヨーロッパの医学は、直接にはイスラーム医学を継承したものであるが、そのイスラーム医学は、ヒッポクラテス、ガレノスの古代ギリシア・ローマの医学を継承しインドなどの東方医学の知識が加わって発達した。イブン・スィナー（アヴィケンナ）の『医学規範』をはじめとして、ヨーロッパの大学医学部のテキストとして使用されたイスラーム文化伝来の研究書は少なくない。しかし一般に広く健康書として利用されたのは、まずは西洋中世の医学の揺籃の地サレルノで十一、十二世紀に作成された『サレルノ健康規則』であろう。この『サレルノ健康規則』については、

旅行用とか、女性用とかいろいろなヴァージョンが作成された。

この『サレルノ健康規則』ほどではないが、注目すべき写本が残されている健康書に、イブン・フトラーンの『健康表』がある。イブン・フトラーンはイスラーム医学隆盛期の十二世紀に中東イスラーム圏で活躍した東方キリスト教徒で、いくつか業績を残しているが、いちばん有名なのがこの『健康表』である。

イブン・フトラーンの『健康表』を有名にしたのは、この本が人々にわかりやすく情報を伝えるために表形式を採用したことがある。彼は、健康のための二八〇項

ウィーン国立図書館Cod.Vid. 2322.fol.2v.
(冒頭部分) 本来の表形式を踏襲したラテン語写本

目を七項目ずつ四〇の表にまとめた。四季や感情なども含まれているが、その多くは食物に関する記述である。それぞれの事物について、その性格、効能、問題点、問題点克服法、良質のもの選別方法、どのような人向きかが簡潔に書かれている。つまり、表を二瞥すれば健康情報が掴めるようにしたのである。イスラーム文化圏では、わかりやすさを追求するために他の分野でも表形式の記述が採用されたといわれる。

イブン・フトラーンのアラビア語の『健康表』がいつ初めてラテン語に翻訳されたのかはつきりしないが、遅くとも十三世紀の南イタリアで翻訳されていたことは確実であり、写本の残存状況からそれなりに知られた著作であったことがうかが

える。そして、イブン・フトラーンの著作がさらに注目を浴びることになるのは、この著作に大きな図版がつけられたことによる。

『健康表』に大きな図版がつけられた経緯は不明であるが、現存する図版入り写本はおそらく十四世紀末から十五世紀初めにかけて、北イタリアの宮廷で作成されたものと考えられている。この時代は十四世紀半ばの黒死病の大流行以来疫病が流行していた時代であり、王侯がすばらしい装飾写本の蔵書を誇るようになった時代である。このような時代に、ミラノのヴィスコンティ家など大きな勢力を誇る一族が、豪華写本を贈答品とする動きのなかで、一般人がイメージしやすい図解医学書を贈ったとされている。



ウィーン国立図書館Cod.Vid. 2644.fol.55v.
「春」若者向きで、動物も植物にもよいとされる。
図はおそらく恋の語らいを示す。

現在、歴史家から注目されているのは、十四、十五世紀に描かれた図版の方である。それぞれの写本に二〇〇枚ほどの図版がついており、各項目を示すために単に事物を示すだけでなく、生活の場が描かれているので、生活史の面で貴重な情報を提供してくれるためである。

この『健康表』は、現在では『タクイヌム・サニタリウス Tacuinum Sanitatis』というラテン語化したタイトルで知られ、日本では『健康全書』という訳がつけられている。実際、大きな図版が入っている写本はもはや表の形はとっておらず、健康情報もただのキャンペーンにしかみえないので、『健康表』というには違和感がある。

『健康全書』は、その図版が注目され、本来伝えるべき健康情報とは異なる生活情報を伝える書物とされている。それでも、この写本の作成の過程を追っていくと、健康情報に対する意識の高さが生み出したもの、それぞれの段階でわかりやすく健康情報を伝えようと努力を思わずにはいられない。そしてそこに盛り込まれている情報は、案外現代の「健康論」に通じるものを持っている。

「形について」

大野 道邦

文学部 教授
国際社会文化学科
比較歴史社会学講座



MICHIKUNI
OHNO

「形」というとあまり最近評価が高くない。「形だけで中身がない」、「形骸化」、「形式主義」、「紋切り型」など。あるいは、「生活や生きるということとは本音で実質的にこの世を切り開いてゆくことであり、形や外観に囚われては生き残ることができない」などの言説である。「貪欲に前進せよ」のスローガンが「美しく生きる」というスタイルを圧倒しているようだ。しかし、はたして形はこのように貶めすべきものであろうか。

よく知られているように、われわれの社会の伝統文化は歌舞伎などに典型的に見られる「型」(源 了圓)によれば、繰り

返され洗練された「形の形」をもっている。だが、型は、歌舞伎などの表出的文化のみならず学問などの認知的文化、さらには日常生活にも「他人との距離の取り方」、すなわち、「エチケット」として浸透している。とくに、かつて丸山真男がいついたように、「学問にも型があり」、大学という場は「この型を徹底して教える」ところではないか。卒業論文、修士論文、博士論文には「書き方(型)」がありゼミでは報告の仕方、討論の仕方があるといった具合である。青春のある時期にこのような認識の型を修得することはその後

ただし、型を余りにも強調しすぎると旧習の墨守に繋がるおそれがある。とはいっても、従来の型を崩し新しい型を創るためには、旧来の型を完璧に身につけなければならぬ。要するに、「型に嵌る」からこそ「型破り」のエネルギーが湧き出すのである。学問への尊敬と美しく落ち着いたキャンパスをもつ奈良女子大学を去るにあたって、形に即しつつも形を超えることに、堅牢な知のシステムを維持しつつもそれが大学の「沸騰」のなかでいわば「内破」し新しい知の形が創発する可能性に、思いを馳せたいのである。

奈良女子大学、 この三〇年

山本 邦彦

文学部 教授
言語文化学科 言語情報学講座



KUNIHIKO
YAMAMOTO

私が奈良女子大学に赴任したのは、一九七四年十月。文学部南棟の竣工と同時にだったので、初仕事はのちに学長を務められた田村椒先生の手助けをして、木造の北

棟からフランス語の図書や道具類を移動させることだった。あれから三〇年。南棟の壁はひび割れし、雨漏りがする。私も目がかすみ、白髪が増えた。

この三〇年間を通して、私が幸せだったと思うのは、学生諸君がとてまじめに受講してくれたことだ。奈良女の学生はきまじめすぎて融通が利かない、こち



らの言ったことしかやらない、などと批判する人もいる。かつて梅棹忠夫も、奈良女生を純粋培養と言っていたからだった。しかし私は、彼女らがまじめに勉強して基本的な知識と教養を身につけているからこそ、今も世間で高く評価されている、と信じ、疑わない。断固まじめを守ってほしい。

は成果を競うようになった。教育の成果は測りにくいので、しぜん研究の成果としての論文数を競うことになる。またそれをもとにプロジェクトを提案して、限られた予算を奪い合う。その結果、シンポジウムの開催と報告書の発行がやたらに増え、かくて大学は「活性化」された。

分の研究、自分の講座だけに閉じてもらわず、全学部の、特に一回生の教育を大事にしていたきたい、と心からお願ひしたい。

最後に学生諸君へ。みなさんが学問をするのは、「ただの物知りになるため」ではなく、立派な人間になるため（モンテール）であることを忘れてください。

数学教室の思い出

山口 博史

理学部 教授
数学科 現象解析学講座



HIROSHI
YAMAGUCHI

私は五年前に滋賀大学から本学へ転任してきて、この三月で停年を迎える。岡潔先生が十四年間教鞭をとられ、第IX、X論文を書かれた由緒ある数学教室に奉職できたことは、関数論を学ぶ私にとって大きな喜びであった。教室のスタッフは各人の分野で独自の道を切り拓き、世界に通じる仕事をしている人達であった。教室会議ではときに紛糾することもあったが、最後には他人の意見を尊重する、強くて柔らかな個性の持ち主が揃っていた。在任中に五名の院生が私のゼミで修士課程を終え、各方面へ巣立って行った。（スタッフ同様に強い個性と心を持った人達で、時に私自身どう対応すべきなのか分からな

くなった。岡先生の直弟子である西野利雄先生も毎週一回顔を出されて、そのうちの二人に、岡一西野の数学を話され、昔日の岡先生の言葉や数学のやり方を知る機会が得られた。先生の話は、何事もスツと受け容れる若い斬新な頭脳の二人と違って、意識的にその言葉を理解しようとする私にとっては心身ともにハードであったが、掛替えのない良い経験であった。

他の三人とは「平衡磁場の研究」と「領域の変分の研究」を学んだ。これらは私が以前に半分できて、そのままにしていたものだが、彼女らはそれらを論文として発表できる迄に仕上げた。院生や四回生のゼミおよび授業を通して実感したこと

は、学生達は数学に論理的に入っていくことは不得手である反面、数学の対象をcaptureし、それを育む素晴らしい素質を秘めているということであった。彼女らの素質をつぶすことがないよう、私自身が数学をあらためて見つめ直し続けた。そのためでもあろうか、最近、二〇年前に見つけた或る命題の意味を初めから考ええる雰囲気生まれ、同僚の森本氏の助けもあって、其の命題が或る問題を解くための鍵になることが分かってきた。奈良を去る間際に、このような幸運に巡り合ったことを嬉しく思う。

「寿命のつづく限り」

高木 由臣

理学部 教授
生物科学科 分子・細胞生物学講座



YOSHIO MI
TAKAGI

三十三年間ゾウリムシを飼い続けて、分裂能に限界があるかどうかを確かめようとしたアメリカ人がいた。その人の名をウッドラフと言う。前日に培養液に入れた二匹のゾウリムシが翌日何匹に殖えているかを数え、その中の二匹を新しい培養液に移すという作業を、毎日三十三年間繰り返したのである。

たわけではないだろうが、そういう実験を企画し実行したという事実の重みに感動を禁じえない。

三十三年間の実験から得た「ゾウリムシは無限の分裂能をもつ」という結論は、後に同じアメリカ人のソネボーンによって否定された。単一の細胞で起こる有性過程(オートガミー)の発見により、ウッドラフの見ていたのは親子・孫…と続く系列であることが判明したのである。ではウッドラフの実験は徒労であったのか。決してそうではない。研究をするということとは知りたいことを自分の手で確かめることであるという単純な真実を、そして、研究は結果の正否だけが問題なのではない。

大きな問題に挑戦した人間の知的探求の歴史であることを、彼は身をもって教えてくれた。

私も奈良女子大学で三〇年間ゾウリムシを飼い続けてきたが、私の場合は三週間に一度工サの更新をするという飼ひ方なので、「飼い続ける」という意味がまるで違う。退職に当たってウッドラフの実験のすゝさを今更のように感じている。実際には彼自身が研究室に拘束され続け

私は三〇年前に本学に赴任したとき、予算と設備の不足を勤勉と情熱で補おうと(！)、時間のかかる割には成果が上がりにくいため研究者が手をつけたからない研究テーマ、「細胞寿命」を選んだ。以後、ゾウリムシでの実験と動物の寿命についての考察から、私なりの寿命イメージを描きあげてきた。退職後も、ウッドラフに感動した寿命研究者として、分子・植物の種の寿命なども視野に入れながら、「寿命とは何か、寿命はいかにして誕生したか」を寿命のつづく限り問い続けたい。

ななろサロン

澤井 勝

生活環境学部 教授
人間環境学科 生活経営福祉学講座



MASARU
SAWAI

前任地の北九州市から奈良に来て七年。北九州でも多くのことを学んだが、ここ奈良でも多くの知己を得た。本学での専

門としては社会福祉を担当したが、その根っこは「地方自治」論である。つまり「地域社会すなわちその住民」と「行政」との

関係の探求が基礎にある。もともとの専門は経済学であり、また経済史でもあった。そんなこともあって、二〇〇二年の春から



「自治・分権の会 ならサロン」の立ち上げに参加させてもらった。地域のあり方に関心を持つジャーナリスト、自治体職員、NPOの活動家、福祉関係者、議員など十数人。会則も代表者もなく、ほぼ月一回の割合で、ゲストを呼んだり、お互いが講師になったりしての勉強会とその後の飲み会。数えてみればあしかけ五年になる。

はじめは会員の事務所をわがもの顔で使わせてもらっていたが、そこが大阪に移動(出世)したので、その後は話したので

きる店を転々とする。おかげでいいお店をかなり知ったのではないかと思う。

その成果として「ならの風」という小誌を出したのが二〇〇二年の十二月であった。奈良についての硬派のオピニオン誌を、という意気込みだった。読者の中からはせめて季刊誌にでも、という意見もあったが、ふわっとした組織なのでそうもいかず。第二号は二〇〇四年の三月になりはしたものの、書き手も増えたいし話題も、参加者も広がっている、と前向きに考えるの

がこの会の持ち味だ。

サロンも「ならの風」もみんな手弁当だし、お互いの力を出し合って、しかし自分たちのやりたいことをやっている。こういう小さな集まりが、「人民協議の場」のひとにでもなればいいなと思っている。このような生活のあり方も大学と地域とのきずなのひとつだと考えたい。今後ものつきあいには続くのでなんらかのかたちで本学メンバーにつなげたいと思う。

この道や 旅人一人 春の朝

西村 二郎(市路)

生活環境学部 教授
人間環境学科 住環境学講座



ICHIHRO
NISHIMURA

奈良女子大学現役最後の言葉を八百字で書けたとのこと、ならば、と短詩型の俳句、短歌らしきもので書くことにした。最近、数年の間に作った(まちづくり)から選んだ。

(まちづくり五七五)

アスファルト、車、超高層の四季

アスファルト 切れ目に芽吹く 命かな
真夏日に ミミズ哀れや アスファルト
アスファルト 落ち葉の行き場 悲しけり
初雪や 玄き(くろき)足跡 アスファルト
新車乗り 新入社員 クラクション
置き去られ 赤子無念や 夏シート
車屋根 落ち葉右手で さつと掃き
冬の朝 アイドリングで 目を覚まし
超高層 春の香りも 知らざりき

エアコンで 超高層に 夏はなし
ニューヨーク 超高層の 秋悲し
超高層 下り立ち吹雪に 驚きぬ

(川柳)

水炊きや 向こうに沈む 炊いた肉

(まちづくり五七五)

仲や良い 向こう三軒 両隣 心通わせ

まちづくりする

町衆に 力の源 貰いける 家造る人

まち造る人

世代前 ニュータウンの 核家族

今老夫婦にて 孫を待つなり

苦も染も 涙も笑いも 皆ありて

出来あがりゆめく コーポリアイフのまち

いにしへの 奈良・長安の まち行き来

思い起こしつ 今また盛ん

壊されし 震災のまち なお癒えず
年あらたまる毎 心痛めり

(狂歌)

町人(まちびと)に 待ち人ありと 御籤

言つ いそいそ出かけ 鮑(あひぢ)なりけり



「オーストリアに留学して」

南葉菜子

文学部 言語文化学科
ヨーロッパ・アフリカ言語文化専攻 四回生

今回、オーストリアのグラーツ大学に留学する機会に恵まれました。留学のための準備期間も含めて、いろいろな体験をし、そのおかげで私の学生生活は思いがけず豊かなものとなりました。ここでは、出発前の準備や、留学中に思ったことについて書きます。

留学準備の二つとして、いくつかの語学試験を受けました。ドイツ語の語学試験と言えば「独検」が有名ですが、その他にゲーテ・インスティテュートの主催する中級統一試験「Zentrale Mittelstufe Prüfung (ZMP)」や、オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験「Österreichisches Sprachdiplom Deutsch (ÖSD)」などがあります。独検が文法主眼の問題形式であるのに対し、ZMPやÖSDは総合的なドイツ語能力を問う形式となっています。読解、聞き取り、作文、面接の四つの部分から成り、選択式の問題は少なく、記述部分が多いのが特徴です。問題集もネットで取り寄せられるので、それを手がかりにして準備しました。語学試験は結果だけでなく、そこに至るまでの過程も大事だったと、後になって思います。

現在はグラーツ大学で勉強しています。九月は留学生のためのドイツ語コースに

通い、十月からはオーストリアの学生と一緒に正規の授業に出ています。九月のコースでは、専攻も出身国も違う留学生と知り合いになりました。ここでは東欧や北欧からの留学生が多く、中には母国語並みにドイツ語のできる人もいました。それでも、ドイツ語ドイツ文学が専攻ではなく、別なことも勉強しているというのが、すごいというかかなわないなと感じます。留学中、最も親しくしているのが、この九月コースで出会った友達です。

奈良女子大学とグラーツ大学との交流協定に携わられたアッハム教授にお目にかかる機会もありました。当然のことながら言葉遣いも話す内容も、普段友達と話すのとは違うので、お会いする前は大変緊張しました。それでもとにかく、私を飽きさせないよういろいろなお話下さって、楽しい時間を過ごすことができました。友達という横つながりだけでなく、こうして目上の方にお会いできたということも、貴重な思い出です。

オーストリアのクリスマスのお菓子は、ケーキではなくクッキーだそうです。何種類もの手の込んだクッキーを頂きました。この日は暖かい好意と家庭の雰囲気

HANAKO
MINAMI

クリスマスには、オーストリア人の友達が家に招いてくれました。写真はその時の様子です。

に触れて、素敵なクリスマスイブを過ごすことができました。

留学生活において、たくさんの方の助けや親切を受けたことを、大変感謝しています。今回この機会が得られたことは、これからの進路を決定する上でも大きな出来事でした。最後にひとこと。多くの人が海外生活をするのと体重が増えるそうですが、自分もやっぱり、という感じです。

Challenge

私の恋都実日記

瀧田 けい子

理学部 物理科学科
四回生

KEIKO
HAMADA

四回生までの学生生活の中で、忘れてくれないチャレンジ。それは、私が恋都実のメンバーとして三年間過ごしたこと。奈良女の学祭を企画するサークル。それが、恋都実。恋都実が『チャレンジ』がいっぱいあった。振り返ってみると得たものは多く素晴らしい経験だったが、やっている最中は『気付けばため息が』よくあった。たくさんあるチャレンジのうち、よく思い出するのは、私が広報という仕事を担当した時のことだ。広報よりもステージ作りの仕事に魅力があった。記念館を約七割は隠す大きさの私の作った背景がステージの後ろに飾られるなんて魅力的すぎる。きっと、両方大成功☆と思った。さらに、調子の良い私は、あれもやるこれもやると引き受けた。私は自分の担当する仕事に驚くべき愛着をもつようだ。誰にも譲りたくない。どうしても自分一人でやりたいと思う。周りが心配していることもおかまいなしで、私の仕事に対する愛着が日に日に増しながら、『机の配置はこっちの

方が、看板の色は…、ステージの花の絵の配置はやっぱり…』構想ばかり練っている。気付けば恋都祭はヶ月後。あせった、あせった。パンフレットやポスター作りの締め切り、「ステージいつできそう？間に合わないよ」というみんなの声、みんなの目。みんなの顔を見るのも嫌になった。自分の仕事は自分でやると宣言してしまっていたから、弱音をはきづらい。だから心の中で『手伝って〜』と叫んだつもり。そんな時、手伝うよと言って休日 handed in 来てくれたり、時間がなくて、一人で40cmの布を難波から奈良まで背中に背負って運んだものの、どうやって縫いつけようか困っていると大学のミシンの部屋で遅くまで一緒に縫い合わせしてくれた恋都実の仲間達がいた。「ステージに敷く板の色塗りはどうなってるの？」と聞かれ思わず今やるはずだったように答えなければ、あまりに追い込まれステージに敷く板の色塗りなんてすっかり忘れていた。そんな私も、最初はみんなをひっぱってやると思っ

た。気付けば最後尾で足をひっぱった。間に合わない私はずっと自分の仕事だけをした。こんな仕事一人でできないと思ったけど、恋都実の部員じゃないのに色塗りを手伝ってくれた友達、励ましの手紙をくれた先輩、私が放り投げた仕事をこままでやってあげるからと引っ張ってくれた先輩。みんなの助けで何とかなった。あの布は本当に重かった。あの重さは私の『わがまま』の重さかもしれない。唯一、褒められるのは元氣だったことくらい。今になっても、あの時の私は恋都実の悩み種だったと気付く。翌年、私が平部員に降格したことはいうまでもない。でも、恋都実で過ごし周囲の協力を得て何かをすることの大切さ、リーダーについていくことの難しさもわかった。私には、恋都実のチャレンジがあるから、今後どんな組織の二員になったとしても、組織をまとめるという事には少しは貢献できると期待したい。

Challenge

私のチャレンジ

鳥居 佳代

大学院人間文化研究科 博士前期課程
生活環境学専攻 1 回生

私が大学院生になって、早二年が経とうとしていきます。この年を振り返ると、研究をただ進めるだけでなく、学部生の時にはなかった多くの新たな体験をすることができたと思います。大学の中だけでは得られない貴重な体験ばかりでした。

まずは、初めての生理学会への参加です。残念ながら自分の研究を発表するには至りませんでしたが、同じフィールドで研究をしている他大学の教授や学生たちと接触するチャンスであり、自分の研究の位置づけを確認する機会でもありました。次回の学会では、自分の研究を発表し、多くの人に知ってもらいたいという意欲をかきたてられる経験でもありました。

信州で行われた International sports science network forum にはスタッフとして参加しました。全て英語で進行されたので、理解できない部分も多かったのですが、新鮮でもあり、これから英語が学習の課題であると認識しました。

この一年で最も大きな活動は、アメリカのエール大学ジョン・B・ピアスラポでの1ヶ月間の研修です。先生に現地の研究者を紹介していただき、メールで連絡をとり合って実現しました。先生もアカデミックな雰囲気に触れて来い、と快く送り出してくださりました。

運動実験の様子



現地では、子供や高齢者を被験者に日本では実現が難しいような実験を多く実施しており、時には参加させてもらうこともできました。研究

所の方々はとても親切で、私の専門外の分野の実験でも、見に来ないかと誘ってくださいました。多様な実験を見ることができ、見識を広げる良い機会になったと思います。また、良い場面も、失敗するところも包み隠さず見せてくれたことが印象的でした。実験には、失敗はつきものですが、そこであきらめず、前向きに取り組んでいく姿勢が、研究者には必要なのだと思います。

また、研修が終わるころには、私の卒業研究を発表する機会も設けてくださいました。

英語で発表することは初めての体験だったので、とても緊張しましたが、研究を見直すきっかけにもなり、自信にもつなが

J・B・ピアスラポのスタッフたち 発表後に



りました。春に参加予定の国際生理学会で、この体験を生かしたいです。

これらの貴重な経験ができたのは、自主性も大切な要因であったと思いますが、大学院生という立場とそれを支援してく

れる環境があったからだと思えます。この恵まれた環境に感謝し、これからも、研究は勿論、様々な活動に取り組んでゆきたいです。

KAYO
TORII

Challenge

ウラン鉱山を訪ねて

岸 忍

大学院人間文化研究科 博士後期課程
人間環境科学専攻 平成十五年履修了
青山学院大学理工学部 化学・生命科学科 助手



SHINOBU
KISHI

昨年の十二月にポーランドに行きました。この歳になつてはじめて訪れた海外です。場所が郊外だったということもあってか、建物や風景は古めかしく、まるで映画に見たような光景のようで、あまり現実感を持つことができませんでした。初めての海外旅行にありがちな時差ぼけに連日悩まされていて、目の前の光景を現実として処理できなかつたことも理由にあったかもしれませんが、その中で、唯一鮮明な思い出として残っているのはツアーの企画として訪ねたウラン鉱山です。

奈良女子大学を出て、今年の四月から青山学院大学にお世話になっていますが、それを機に新たな交友関係も増え、今まで見ることもなかつた研究にも触れるようになりました。共同研究をしていただ



ウラン鉱山の入口

いている研究室の関連から、私にとっては馴染みの薄かつたウラニル化合物について知る機会もありました。ウラニル化合物は非常に強固な構造を持っています。基本的にウランの上下に二つの酸素が配位し、そのエクタトリアル面に様々な配位子が様々な配位形態で配位した構造を持ちます。ウランの価数が変わってもそうしたウラニルの基本構造は維持されるといいます。ウラニル化合物がなぜ酸素との結合が非常に強く、直線的な酸素—ウラン—酸素の形を好むのかは知りませんが、ウラニル錯体の構造の強固さを、私は面白く感じ、ウランそのものに興味を持ち始めていました。そのため、ポーランドでのウラン鉱山ツアーは、実験室で見る錯体ではない、生のウラン化合物を見ることのできる、めったにない機会として、何より楽しみにしていました。

実際にウラン鉱山を訪ねてみると、ウラン鉱脈自体はほんの一部、褐色ガラスのカバーがかぶせられた数センチ四方のものしか見せてもらえず、黒い岩石に浮かぶ壮大なウランの黄色の鉱脈を想像していた私の期待は裏切られてしまいました。もちろん考えてみればそれは当たり前のこと、ウランは放射性物質であるため、普通の鉱脈のようにそつ易々と見ることはできないものではありませんでした。し

かし、採掘状況を再現した模型が随所にあり、案内の女性の親切な説明もあって、当時の様子を窺うことはできました。基本作業はダイナマイトによる爆破とドリルによる採掘で、危険を伴う作業だからか、作業に携わる人間は皆信心深く、隕石を奉り、触ることで安全を祈り、洞窟内の小さな教会でのマリア像に祈りをささげていたといえます。ただ、放射性物質を扱っているにもかかわらず、採掘の際の特別な対策はあまりなかつたのが印象的でした。

ウラン化合物は α 崩壊をしやすく、 α 線は透過性が低いため、ガラス容器などで簡単にさえぎることができ、一般的な印象よりは有害性が低いといえます。それでもウラン化合物は有毒な放射性を持ち、被曝した本人だけでなく子供にも影響がある放射性を持つ物質です。ウラン化合物の取り扱いには現在、非常に厳しく、購入するのも困難です。そのため、ウラン化合物に関する研究もあまり行われておりませんが、危険だからといい、避けるだけで、知らないままにしていることの方がよほど怖いように思えます。本当の意味での安全を得るためには、基盤的な知識を十分に得ることと、扱う人間の責任感や安全管理への意識が大切なのだと考えます。

新たな道へ

酒井 裕子

大学院人倫文化研究科 博士前期課程
生活環境学専攻 平成十三年修了
日本電気株式会社 中央研究所YUKO
SAKAI

私は、社会人になり新たな道を進み始めました。生活環境学部で繊維・素材の材料学を学んでいましたが、現在は、パソコンのモジュールを開発する部署で働いています。材料学からなぜ電子部品に？

とよく聞かれますが、就職活動中にこの分野に興味をもち今の仕事に携わっています。モジュールを開発するといっても、基礎研究のゼロからスタートし製品化へ向けての開発なので非常にハードルは高く、日々苦戦しています。しかし、私は学生のころから「世の中にないものを作って社会に貢献する」という夢がありました。

少しスケールが大きすぎる夢かもしれませんが、今はその夢を実現するために近い場所です。仕事ができ、幸せに思います。ただ、どんな仕事も同じだと思いが、畑違いの分野を開拓していくためには、人並み以上の努力が必要です。自分の力不足を痛感して自信を失うことも多々あります。しかし、私は大学時代の恩師の「ひとつの技術を極めることが大事」という言葉を念頭にこれまで取り組んでくることができました。たくさんの方の力を借りながら、例え題材が変わっても応用を利かせやすいのではないかと思います。私も全く分野違いのところに飛び込んで

いきましましたが、テーマに取り組み考え方の仕事の進め方は、大学時代に培ったことが基礎となっている気がします。

現在、非常に技術革新の流れが早い世の中でもちろん即戦力のある多才な人材は必要とされているでしょう。しかし、そんな世の中であるからこそ社会は本当の意味でのエキスパートを求めているように感じます。

みなさんも、ぜひあわてずに現在取り組んでいる分野またはテーマのうち一つでいいのでエキスパートになってください。それが将来大きな武器となり、土台になつくれることと思います。かく言う私も、仕事上で色々な経験をしながらまずはどの技術を自分の強みとできるか、日々試行錯誤しています。たださえ、まわりには「その手」の専門家がたくさんいる訳ですから…。

仕事の話とは離れますが、社会人になりもうひとつ新たに始めたことがあります。それは、会社の先輩に教わりながら始めたサーフィンです。昔から泳ぐことが好きでしたが、サーフィンを始めるなんて自分でも予想していませんでした。昨年の夏は、ほぼ毎週のように千葉県海へ行ってサーフィンの練習

をしました。はじめは、波を超えても超えても次の波で岸まで押し寄せられ大変な思いをしました。波をつかむ感触を味わうとやめられなくなってしまう、初心者でありながら長期連休を利用して、奄美大島やハワイにサーフィンの旅にも出かけました。夏になるとすぐ日焼けしてしまうことが唯の悩みですが、仕事だけではなく、プライベートも充実させるために続けていきたいと思えます。

未来は必ず新たな道が開けています。また予想しなかった自分が見つかるとは思いません。そのとき、自分らしくその道を歩いていくためにも、奈良女子大学でたくさんの方の事を学び、様々な経験を経てこれからの人生のしっかりとした土台を作ってください。



佐保会だより

奈良女高師・奈良女子大学の卒業生で構成する社団法人佐保会は、母校奈良女子大学への支援と会員相互の親睦扶助を目的として、多彩な活動を行っています。学生の皆さんに直接関わる最近の行事についてお知らせします。

*平成十六年度佐保会奨学金授与式が、十一月十七日(水)に行われました。この



奨学金制度は、母校創立五十年記念事業として行った会員からの募金を基に設置したもので、奨学金は人物・学業共に優秀な学生に授与されます。今年度は左記の十四名

の方に生駒理事長から贈られました。また久米学長から奨学生に対して、祝辞を賜りました。

文学部	二回生	何谷有美
文学部	四回生	金成綾乃
理学部	四回生	中嶋陽子
理学部	四回生	柏木裕恵
生活環境学部	二回生	亀割 彩
生活環境学部	四回生	波澤佳代
博士前期課程	一回生	高德 希
博士前期課程	一回生	曾田信穂

博士前期課程	一回生	鎌倉真依
博士前期課程	二回生	井田晶子
博士前期課程	二回生	中岡寛子
博士前期課程	二回生	表 亮子
博士後期課程	一回生	吉田実加
博士後期課程	三回生	伊藤朋子

*第十回「在学生と卒業生のつどい」が十一月十九日(金)に開催されました。この「つどい」は、各方面で活躍されている卒業生をお招きし、先輩の体験談や在学生への助言を通じて交流の輪を広げようとするものです。皆さんの進路決定に際して一助になることを願っています。本年度は、五月に「大学で得たもの・得たいもの」というテーマでパネルディスカッションが行われましたが、今回は、エイジング社会の研究の第一線で活躍されている高岡真佐子さんに講演「Multiple Choice のライフワーク」をお願いしました。高岡さんは、本学化学科を一九九九年に卒業された後、京都市衛生研究所研究員、国民生活センター調査部情報管理室員、製品輸入促進協会チーフアドバイザーを歴任されてきました。二〇〇四年には放送大学大学院修士コース第二回修了生として、学術修士を取得されています。世界的な視野に立ち、時代の潮流を的確に捉えて、自らの活路を求めてこられた体験に基づく講演は、多くの人々に深い感銘を与えました。講演は学生さん達への次のメッセージで締めくくられました。(講演の詳細内容は、佐保会HPに掲載
http://www.nara-wu.ac.jp/dousoukai/sahokai/)
「これまでしてきた仕事の中で思うこと

は、どんな時にも諦めない、将来に向けて自分の力を溜め込む、チャンスを受け入れ最大限自分のもてる力を発揮することに務める。また異なった種類の友人を多く持つと云うことです。生活者の視点を大切に、ナンバー・ワンより、オンリー・ワン、自分にしたったつものを見つけて下さい。」出席した学生さんから「大変良い講演でした。これからの私の人生に役立つと思います。」「是非このような企画を続けて下さい。会のPRをもっとすべきでは」との感想が寄せられました。多くの学生の皆さんの参加により卒業生との交流が一層深まり、意義ある「つどい」を持つことができると思っています。次回は二〇〇五年五月中旬を予定しています。是非ご参加下さい。尚、この「つどい」についてご要望やご意見がありましたら、次のメールアドレスへお寄せください。
sahokai@herb.ocn.ne.jp(文責:川崎和子)



就職内定状況

雇用環境がゆるやかな回復傾向を見せる中、企業が学生に求めるハードルは依然として高く、ここ数年人物重視の厳選採用が続いています。

このような環境の中、現4回生の就職内定率は平成17年1月7日現在で77.7%を確保しており、前年度と比較すると文学部・理学部・生活環境学部のすべての学部において内定率が上回る結果となりました。

また、内定先企業等の産業別の傾向としては、情報処理産業をはじめ、卸・小売業、金融・証券、製造業（食品）の占める割合が高く昨年とはほぼ同様の結果となっています。

以下は、学部・研究科別の産業別就職内定企業等一覧です。

平成16年度（17年3月）卒業・修了者の就職先企業等一覧

〔（ ）内は、複数内定者の人数を示す。〕17年1月7日現在（学部）

産業別内訳	就職先企業等名称		
	文学部	理学部	生活環境学部
建設業		YKKAP、パナホーム	大和ハウス工業(3)、和光
不動産業	アーバンコーポレーション、相鉄ビルマネジメント、レオパレス21、西日本産業、天王寺ターミナルビル		ハynesコーポレーション、三幸住宅
製造業			
食品	あじみ屋、田中食品興行所	いなば食品	デリーはやしや、航空食品、日本サンガリアペパレッジカンパニー、マルハチ、伊那食品工業、井村屋製菓、トーラク、千代むすび
繊維工業			宇仁繊維
衣服・その他繊維			オンワード樺山、ワコール(3)
化学工業	バイエル薬品(2)、旭化成アミダス(2)	藤森工業、バイエル薬品、田辺製薬、中外製薬	富士レビオ、資生堂、ノエビア、バイエル薬品、エフピコ
非鉄金属		住友電気工業、生田産機工業	
一般機械器具		日本圧着端子製造	
電機機械器具		日本アイ・ビー・エム(2)、日立製作所、萬世電機、日立製作所、アイ・オー・データ機器	ダイキン工業(2)、松下電工
輸送用機械器具			近畿車輛、日立造船
精密機械器具		京セラミタ	日本メトロニク、アークレイ
その他製造	ムービック、サンキン、福田金属箔粉工業	アークメディカルサポート	日本光電工業、東陶インフォーム、クリナップ
卸売業・小売業	モンテローザ、アールビバン、グルーヴミュージックライブラリー、協同物産貿易、淳久堂書店、聘珍樓、そごう	ファーストリテイリング、白石カルシウム、ライフオート、ダイソー	ライト(2)、すかいらーく、セーブオン、天満屋、卑弥呼、生活考房、ペルーナ、名鉄百貨店、フジオフードシステム、ニトリ、市原亀之助商店、コメ兵、そごう、日本事務器
金融・証券	伊予銀行、東京三菱銀行(2)、トヨタアセットマネジメント、京都銀行、三井住友銀リース、浜松信用金庫、豊橋信用金庫、みずほフィナンシャルグループ、住友商事フィナンシャルマネジメント、住友信託銀行、但馬信用金庫、三井住友銀行、南都銀行(2)、UFJ銀行	きのくに信用金庫、滋賀銀行	南都銀行(2)、泉州銀行、京都信用金庫、グローバル、岡三証券、九州親和銀行、スルガ銀行、みずほ信託銀行
保険	第一生命保険相互会社、日本生命保険相互会社	損害保険ジャパン	
運輸			防長トラベル、全日本空輸、日本航空インターナショナル、JALスカイ関西、名古屋鉄道
通信	光通信、NTTドコモ九州、西日本電信電話	KDDI、西日本電信電話(2)、NTTコムウェア	
電機・ガス・熱			大阪ガス
報道・出版	読売西部アイエス	セイファート	

「()内は、複数内定者の人数を示す。」17年1月7日現在(学部)

産業別内訳	就職先企業等名称		
	文学部	理学部	生活環境学部
情報処理産業	住商情報サービス、シーエーシー、住友化学システムサービス、トランスコスモス、ディンプス	ケーケーシー情報システム(2)、富士通エフ・アイ・ピー(3)、阪急ビジネスアソシエイト、三菱電機情報ネットワーク、数理計画、インテック、松下システムテクノ、富士通テン、NECソフト、NRIネットワークコミュニケーションズ、日本システム通信、富士通北陸システムズ、住生コンピューターサービス、ヤマトシステム開発、富士通システムソリューション、松下システムソフト、アイテック阪神、フューチャーシステムコンサルティング、東芝インフォメーションシステムズ、富士通北陸システムズ、JR西日本情報システム、三菱電機マイコン機器ソフトウェア	有線ブロードネットワークス、ACCESS、デンソーアイテム、住生コンピューターサービス(2)、日本IBM中国ソリューション、三菱電機住環境システムズ、ジェーエムエーシステムズ
サービス	ジェイ・エス・ピー、ヤマト運輸、三幸グループ、ミックプランニング、NOVA、セコム、イング、市田、パシフィックツアーズシステムズ、ベネフィットワン、喜多法律事務所、大江橋法律事務所	教育企画、赤塚植物園、NOVA、電通ファミリティマネジメント、サントリーパブリシティサービス、アルテクナ、パソナオン、大阪教育研究所、大和田診療所	日本食品分析センター(2)、セコム、高見(2)、ホクリード、JTB
官公庁等	近畿財務局	和歌山県庁、国土交通省、富山市役所、東京国税局	長泉町役場、枚方市役所、富山県庁、焼津市役所
教育機関	名城大学付属高等学校、福岡雙葉学園中学・高等学校、岐阜女子高等学校、大阪ひがし幼稚園、大阪府立盲聾養護学校、大阪市内幼稚園、京都市内幼稚園、富山県内小学校、奈良県内小学校(2)、大阪府内小学校	大阪府内中学校(2)、愛知県内中学校(2)、鶯谷中学・高等学校、兵庫県内中学校、石川県立中学・高等学校、大谷中学校、天理教校学園高校、名古屋市立高校、東京都立中学・高等学校	大阪府内小学校

「()内は、複数内定者の人数を示す。」17年1月7日現在(大学院博士前期課程)

産業別内訳	就職先企業等名称		
	国際社会文化学専攻 言語文化学専攻 人間行動科学専攻	生活環境学専攻 人間環境学専攻	数学専攻 物理科学専攻 化学専攻 生物科学専攻 情報科学専攻
建設業		大和ハウス工業、エス・バイ・エル、鹿島建設	
製造業			
食品		日本酪農協同	ポッカコーポレーション
繊維工業			東レ
衣服・その他繊維		ミキハウス	
出版・印刷			大日本印刷
化学工業		大正製薬、田村薬品工業、エーザイ、三井化学	三菱化学、羽羽化学工業、住友化学工業、日本コルマー、エーザイ、日新化学研究所、湧永製薬、クラブコスメチックス、富士写真フイルム
非鉄金属			住友電気工業(2)
電気機械器具			松下電器産業、三菱電機
輸送用機械器具			マツダ、トヨタ自動車、日産自動車
精密機械器具	富士ゼロックス	日東電工	京セラミタ
その他製造		日本たばこ産業、ヘッス	ミネベア、トンボ鉛筆、帝国インキ製造(2)
卸売業・小売業		万代	ユーステクノコーポレーション、天極堂
保険	日本生命保険相互会社		
報道・出版	読売新聞大阪本社	北國新聞社	
情報処理産業	新日鉄ソリューションズ		大阪エヌデーエス、アーム、電通国際情報サービス、松下システムテクノ、オービック、富士通ハイパーソフトテクノロジ、ケーイーエンジニアリング
サービス	クレヨン小児科、現代奈良協会、奈良県立権原考古学研究所	秋田病院、ベルシステム24	ウィルウェイ、理化学研究所、ベネッセコーポレーション、中野BC、日本総合研究所
官公庁等	防衛庁、大阪市役所、大竹市役所	松本市役所	
教育機関	清教学園、智辯学園、大谷中学・高等学校、開明中学・高等学校、佐賀県内中学校、静岡県内中学校		岡山県美作高等学校、大阪府内中学校(2)、兵庫県内中学校、比治山女子中学・高等学校、奈良佐保女子学院短期大学、開明中学・高等学校

体育系

■合気道部

①26人②原田奈緒③毎週火・木曜17時～第二体育館、金曜18時～鴻ノ池道場にて④月1,200円(offの月は無し)⑤合気道は、体一つで出来る武道です。しなやかな体の動きによる、美しくて力強い身体表現の一つです。運動未経験者でも、全く問題ありません!!興味があっても始められなかった武道を、貴女もやってみませんか!?

■アイススケート部

①5人②鈴木智菜③毎週土曜日、阪大さんと合同部練と夏は週1回の陸トレをしています。④月500円、入部金3,000円⑤はじめてジャンプやスピニングができたときは本当にうれしいです。大会では好きな曲をかけて演技できます。また、他大学の方々と同じリンクで練習するので、友達がたくさんできます。

■弓道部

①23人②坂口みどり③毎週火・木PM4:30～、土AM9:30～④毎月1,000円⑤講堂北側にある弓道場で活動しています。弓道は老若男女問わず楽しむことができる武道です。形の美しさと矢を放つ刹那の心地良い緊張感は、はまってしまうほど病みつき!古式ゆかしい奈良の地で、貴女も弓道を始めてみませんか!?

■剣道部

①13人②室 悠子③月・土第二体育館、木第一体育館④月1,000円⑤私達剣道部は、週3回稽古に励んでいます。経験者はもちろん、初心者でも大歓迎です。大学から始めた人は卒業までに二段をとれます。私達と一緒に剣道部で、楽しく充実した学生生活を送りましょう!みなさんの入部を心よりお待ちしております!!

■硬式テニス部

①17人②古賀枝里子③火・水16:30～、土9:00～12:00(日9:30～15:00)④入部金1,000円、部費1,000円⑤硬式テニス部では大学から始めようという初心者の方も、先輩や先生方の丁寧な指導によりどんどん上達できます。もちろん経験者も今まで以上にテニスを楽しめるはず!ぜひ一度テニスコートへお越し下さい。

■サッカー部

①12人②重高純子③月・水16:30～、土・日14:00～④500円⑤女の子がサッカーなんて…という考え方はもう古い!!これからは女の子だってサッカーする時代です。サッカーが好きな人、少しでも興味がある人は、ぜひグラウンドに遊びに来てみて下さい。私達と一緒に、思いっきりボールを追いかけてみませんか?楽しいですよ☆

■水泳部

①5人②平田有佳③5月～8月、水・日曜を除く週3回以上/9月～4月、週2回④なし⑤奈良教育大学内プールで活動しています。初心者も経験者も自分に合ったメニューで楽しく泳げます。他大学との交流試合もあり!水泳が好きな人、少しでも興味のある人は気軽に連絡下さい。

■スキー部

①9人②中野 愛③OFFのとき月・金の体力トレーニング。シーズン中は、白馬やよませで合宿。あとは各自居候。④2回生から年1回1万円。⑤初心者大歓迎!私たちと一緒に白銀の世界でスキーを楽しみながら技術の向上を目指しましょう!!

■ソフトテニス部

①15人②高平麻美③月・木16:30～、土13:00～学内テニスコート④500円/月⑤経験者・初心者問わずソフトテニスをしたい人大歓迎です!!月に1回ほどコーチが来てくれるのでみんな上手くなれますよ☆一緒にソフトテニスを楽しみましょう!!!興味を持った方はテニスコートまで来てね。

■卓球部

①9人②杉山愛実③水・金16:30～、土13:00～④前後期各500円⑤現在私達卓球部はとても前向きな良い雰囲気の中で活動しており、昨年はリーグ戦や国立大学の各種大会等でも良い成績を残すことができました。個人に合った練習ができるので初心者、経験者問わず大歓迎です!!ぜひ一度見学にお越しください。

■なぎなた部

①6人②松村麻貴子③火・木16:00～、土9:30～④月500円⑤部員は少ないですが、みんなで仲良く活動しています。部員のほとんどが大学から始めた初心者ですが、卒業までに二段を取ることもできます。袴をはいてのお稽古を通して有意義な大学生活を送ってみませんか?

■バスケットボール部

①12人②小坂友美恵③毎週月・木PM4時半～7時、土AM9時～12時④毎年5,000円+登録料2,000円⑤バスケット部は、バスケット大好き、バスケットをやりたい!という人大歓迎です。週3回経験者・初心者問わず楽しく練習しています。大学生活を充実させるなら絶対バスケット!!プレイヤーはもちろん、マネージャーも大歓迎です!



文化系

■E.S.S

①31人②倉上 京③全体活動は月、木の放課後と火、金の昼④入部費1,500円、前期3,500円、後期1,000円⑤英語力が向上するだけでなく、春、夏には10もの大学の仲間達と合同キャンプに行くなど交流が盛んなため友達との輪が広がり、その中で人間的にも成長できます。充実した大学生生活を保証します☆

■演劇部

①9人②北橋奈実③毎週水・金④公演ごとに⑤役者・裏方希望ともに大歓迎！初心者の方も気軽に、学館3F和室のドアをカラカラ(引き戸)と開けて下さいませ。毎週水・金の16:30～活動しております。詳しい活動内容については、4月に説明会を行う予定ですので、興味のある方は是非いらして下さい☆お待ちしております。

■華道部「花こみち」

①12人②逆瀬川幸子③週3回程度月曜17時半～中集會室④前期800円後期400円⑤初心者・経験者大歓迎。先生の親切な御指導の下、回生入部時期を問わず楽しめます。詳しいことは学階1階ホワイトボードに掲示しています。生け花に少しでも興味をもたれた方はいつでも見学に来て下さい。

■競技かるた部

①12人②藤まりこ③毎週月・火・木16:30～④月250円⑤競技かるたとはお正月によく新春かるた大会とかTVでやってるあの百人一首を使った競技です。競技者のほとんどが大学に入ってから始めた人たちばかりなので初心者でも全然大丈夫。興味のある方も「競技かるたって何？」という方もぜひ一度見学に来て下さい。

■舞踊部

①9人②沢田奈穂子③毎週月・木PM4時30分から学館2F大集會室④前後期各1,800円⑤バレエ・ジャズダンスを中心に様々なジャンルの踊りにチャレンジしています。初心者大歓迎！学祭での公演は部員全員で力を合わせ発表しています。一緒に楽しく踊ってみませんか？舞台演出や音響、衣裳のスタッフさんも大歓迎です!!

■モダンダンス部

①23名②中西李佳③毎週月・金午後4:30～④月1,000円(ジャズのレッスン費)⑤私達モダンダンス部は創作ダンスを中心とする部活ですが、毎週月曜日にはプロのダンサーによるジャズ等のレッスンも行っています。年に2回の他大学合同の発表会や学祭などイベントも盛りだくさん!!初心者大歓迎です。まずは第2体育館へ見学に!!

■陸上部

①15人②高橋里予③月・水・金16:30～④なし⑤陸上部は走ることが大好きな仲間の集まりです。競技中心の人からマラソンなどを目指す人まで、経験者・初心者問わず楽しく活動しています。走り終えた後の達成感は最高ですよ！マネージャーも大募集！興味をもたれたらぜひお越し下さい。一緒に奈良を走りましょう。

■ラクロス部

①27人②小林加織③火・木16:30～、土9:00～④毎月1,000円⑤「運動したい！青春したい！」という人は絶対ラクロス!!ラクロス部はみんな個性的で仲良く楽しく日々ラクロスに燃えています。他大学と交流も多く友達がたくさん出来ること間違いなし！私達と一緒にEnjoy LACROSSE☆☆☆

■バドミントン部

①8人②徳廣志保③月・水は午後4時半から、土は午後1時から④月1,000円⑤現在、人数はあまりいませんがみんなで仲良く、それぞれの目標に向けて頑張っています。部員のほとんどが、大学からバドミントンを始めました。初めての方も経験者の方も、ぜひ一度見学に来て下さい。大歓迎です。

■バレーボール部

①10人②碓山いくみ③火・金・土第一体育館にて④1,000円⑤「楽しくバレーをする」をモットーに春と秋に開催されるリーグ戦に向けて、日々練習に励んでいます。初心者ももちろん大歓迎！マネも大募集！私達と一緒にバレーボールを楽しみましょう。一度気軽に練習を見に来て下さいね！

■ハンドボール部

①10人②園田未来③毎週水・金16:30～第一体育館④毎月500円⑤部員の大半が初心者！みんな仲良く練習しています。他大学との交流もあります。大学で、新しいスポーツに挑戦したい方、「ハンドボールってどんなスポーツ？」って思っている方、ぜひ気軽に見学しに来て下さい！部員みんなで歓迎いたします!!



■美術部

①12人②佐藤麻衣③週1回ミーティング④なし⑤学祭での展示が主な行事です。普段は基本的に自由に個人で製作などします。また、みんなで美術館に行ったりもします。絵は描かないけど見るのは好き、という人でも大丈夫です。そのへんも自由です。



■舞台芸術部『芝居小屋』

①5人②塩田美里③火・金④月500円⑤役者・演出・音響・照明・舞台美術・衣装・脚本・広報等、色々なジャンルに興味のある者が集まり、1つの舞台を作り上げようという部活です。特に決まったスタイルはなく様々なことができますよ。4月に新歓公演をしますのでは是非見に来て下さい。

■漫画研究会

①37人②山下真佑美③部誌発行、学祭時に「COMIC☆PARTY」開催④入会金1,000円前後各1,000円⑤毎週火・金曜日学館2階で活動中。楽しく談笑するもイラストを描くも部員の自由です。漫画やアニメ、ゲームが好きな方、部誌に漫画を描きたい方、好きなジャンルについて語りあいたい方は是非一度いらして下さい。

■わかたけ会

①10人②若林里美③MT:毎週火・金昼休み、プレイ:日曜(月1回)④交通費のみ自己負担⑤京都府八幡市に住む軽度の障害を持つ小学生達と遊んでいます。毎月プレイ内容が変わり、スケート、キャンプ、クリスマス会、お料理会等があります。子ども好きの方、企画するのが好きな方大歓迎!あなたの笑顔をお待ちしてます。

■教育問題研究会

①10人②高野 瞳③週2回の例会、長期休暇中の合宿、月1回の機関紙発行など④月500円⑤日の丸・君が代強制の問題、文部科学省の教育政策の問題、子どもたちの「荒れ」、受験競争、教科書問題や教育基本法改定問題など、様々な問題を研究しています。授業だけでは得られない友人もできます。これぞ大学生の醍醐味!!いざ!!

■写真部

①7人②鍛冶屋友美③月曜日にミーティング、アマの写真家による写真教室、近辺へ撮影会(月1回程度)④前後期各1,000円⑤自由にクラブ活動しています。学祭での展示が主です。写真に興味がある人、始めてみたい人、是非のぞいてみて下さい。経験は問いません。

■書道部

①21人②澁谷香奈③毎週月曜日学館3階和室にて④前期後期各5,000円程度⑤主に春と学祭での書展、学書展への出品を行い、その他拓本とりや文部科学省認定の書定検定も行っています。自由に作品を作ることもできます。毎回先生が来て下さり、丁寧な指導が受けられます。経験は問いません。是非気軽に遊びに来て下さい。

■天文部

①22人②野田仁美③週1回の昼休みミーティング、合宿、学内観望、関西学生星のネットワーク行事への参加④月150円⑤私たちは色々な天文台での合宿をしたり、天文写真を撮ったり、プラネタリウムをしています。わきあいあいとしてちょっと落ち着く部活です。少しでも興味のある方は一度覗いてみて下さい。

■点訳部

①10人②小林淳子③火・木16:30~④なし⑤本を点字になおすための手伝いをしています。1回生の前期には、実際に点字を打ち、点字に慣れ親しむことができます。夏休みには、富士山付近で合宿をしています。点字を打ってみたい方、ボランティアに興味がある方は、是非のぞいてみてください。

■キリスト者学生会

①4人②高松 恵③毎週火曜日PM2:40~4:10サークルBOX2Fで皆でワイワイガヤガヤお菓子を食べつつ聖書・キリスト教について学んでいます。④無料!⑤キリスト教・聖書に興味のある方、クリスチャンの方、どなたでも大歓迎なので気軽にのぞいてみて下さい。

■古美術研究会

①23人②羽田明日香③例会、週2回放課後活動、月1回遠足、年2回合宿、寺社の年中行事への参加④未定⑤京都・奈良の寺社や祭りを見学する活動をしています。奈良女独自の特別拝観等の手伝いも企画中です。みんなのんびりと好きなように活動している、割と自由なサークルです。興味のある人は是非遊びに来てみて下さい。

■茶道部

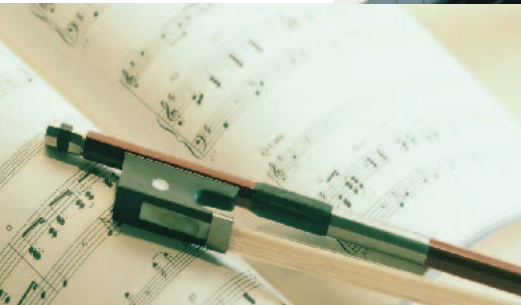
①42人②池田 綾③火曜日にミーティング、木曜にお稽古、10月に秋茶会④3,000円⑤毎週学内の佐保会館で3人の先生方に教えて頂いています。ほとんどの部員が大学から始めているので、初心者でも心配いりません。昨年は法隆寺展・正倉院展でお茶をふるまいました。お茶や和菓子に興味のある方は一度見学にいらして下さい。

■piano-forte

①18人②角田理絵③週1回ミーティング、恋都祭での出店、定期演奏会④前後期各3,000円⑤難曲に挑戦する人、連弾を楽しむ人、みんな自由にピアノを楽しんでいます。音楽棟には冷暖房完備の個室の練習室が14部屋あるので、思う存分ピアノが弾けます。興味のある方はぜひ音楽棟へ！HPもあるので検索してみてください。

■恋都祭実行委員会

①13人②中尾真由美③火・金曜の昼休みミーティング④なし⑤恋都祭実行委員会、通称コトジツは1サークルとして活動しています。恋都祭を盛り上げることを目的としたサークルです。楽しく和気藹々とした中でも時に熱く真剣に取り組む集団です。とてもたくさんの方のことを学べます！私たちといっしょに恋都祭を盛り上げよう！



■ギターマンドリンクラブ

①40人②里 朋美③月・水PM4:30～7:00④毎月1,000円⑤6月の関西学生マンドリン連盟合同演奏会、11月の定期演奏会に向けて練習しています。部員は皆初心者から始めた人ばかりです。他大学との交流やイベントなどいつも楽しく活動しています。少しでも興味のある方は是非気軽に来て下さい。

■軽音楽部

①14人②中田裕美③火曜昼休みのミーティング、年4回のライブ④月1,000円⑤練習は各バンド自由にできます。部員のほとんどが大学からの初心者なので気軽に始められますよ！他のライブにゲストで出たり、他大学のバンドさんと仲良くなったりもできます！自分の好きな音楽をやりながら一緒に楽しく活動しませんか？

■Jazzy Club

①29人②井田万葉③月曜昼休みミーティング、練習は火・木曜、年3回のライブ(新歓、七夕、学祭)など④入会費1,000円、前後期各2,000円⑤ジャズを知らない人も演奏未経験者も大歓迎！とても仲良く、アットホームな部です。他大学との交流など詳しくは、下記のホームページまで。
<http://www.geocities.jp/jazzy-narajo/>

■箏曲部「飛鳥会」

①14人②坪川由佳③ミニコンサート(春)定期演奏会(秋)④1ヶ月750円⑤琴だけでなく、2回生からは三味線も習えます。初伝・中伝・奥伝とお免状も頂けます。初心者ばかりの部ですので気軽にどうぞ。5月21日、講堂でミニコンサートを開きます。是非いらして下さい。お待ちしております。

■能楽部観世会

①9人②伊藤 彩③週2回火・木曜④2,000円⑤舞と謡の実践を通じて能楽に親しむことを目標にしています。プロの能楽師の先生にご指導頂き、毎年一回能などを出す自演会を開いております。また希望者は笛などのお囃子も習えます。部員は皆初心者から始めた人ばかりです。どうぞお気軽に見学いらして下さいね。

■社会科学研究会 葦の会

①10人②岩崎麻友③週2回の例会、フィールドワーク、合宿、学園祭での展示・講演会など④月200円⑤私たちは様々な社会問題について研究しています。どんとこい、社会問題！ここに来て自分の視野を広げてみませんか？これまでは環境問題や国際問題などやってきました。今年はどうするか。気軽にみんな立ち寄ってね！

音楽系

■音楽部

①22人②相部有里③月・水・金の5時半～7時半④1,500円⑤音楽部は、とてもアットホームな女声合唱団です。入部条件は歌が好きである事のみ！一年の活動としては定期演奏会や他大学との合同コンサートなどがあり、合唱コンクールにも挑戦しています。こんな私達とハモってみませんか？心よりお待ちしております☆

■管弦楽団

①47人②森 里美③スプリングコンサート、定期演奏会、依頼演奏、合宿など④月額2,000円⑤初心者、経験者を問わず大歓迎です！大学から何かを始めたい方、ぜひオケ部へ！プロの指導も受けられるので、めきめき上達しますよ！詳しくは下記のホームページまで。
HPURL <http://www.geocities.co.jp/Hollywood/8002/>

■ギター部

①5人②山地広美③昼休み、放課後自主練習④なし⑤ギター部は自分の好きな曲を楽しく弾くクラブです。何か新しい音楽を始めたい方、楽器や楽譜は用意していますので1度部室に気軽に遊びに来て下さい。主に自主練を中心に活動していますので自分のペースで活動できます。一緒にギター部を盛り上げていきましょう☆

学生表彰

昨年10月創設された学生表彰制度による初の表彰式が2月10日(木)行われました。

この制度は、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた本人又は団体が表彰されるもので、次の9名と5組の団体が学長より表彰を受けました。(個人)



土本 温子(理学部3回生・音楽部)	指揮者賞受賞
第59回関西合唱コンクール	
重坂由里香(理学部1回生・弓道部)	3位
第17回奈良県大学選手権大会	
山下 梓(理学部1回生・弓道部)	2位
第17回奈良県大学選手権大会	
山西 陽子(理学部2回生・弓道部)	2段以下の部 優勝
第22回奈良女子弓道大会	
近藤 優美(理学部3回生・水泳部)	100m平泳ぎ2位
第42回近畿地区国立大学体育大会	200m平泳ぎ2位
同	
今井麻優子(文学部1回生・なぎなた部)	2段以下の部 優勝
第20回関西なぎなた新人戦大会 試合競技	
松村麻貴子(理学部1回生・なぎなた部)	初段・1級の部 優勝
第20回関西なぎなた新人戦大会 試合競技	
高橋 里予(生活環境学部2回生・陸上競技部)	800m走 優勝
第42回近畿地区国立大学体育大会	
宮田 知佳(生活環境学部3回生・陸上競技部)	走り幅跳び 優勝
第42回近畿地区国立大学体育大会	100m走 3位
同	
(団体)	
音楽部	金賞受賞
第59回関西合唱コンクール	
剣道部	2位
第20回関西女子大学定期戦	
卓球部	団体戦2位
第42回近畿地区国立大学体育大会	
なぎなた部(今井麻優子・清家 晴子)	段外の部 2位
第20回関西なぎなた新人戦大会 演技競技	
阿部 啓(理学部3回生)	団体戦3位
黒瀬 智子 同	
武藤麻衣子 同	
第4回忍性さんのチャリティー全国折鶴選手権大会	

お詫びと訂正

学園だより第75号掲載の「第42回近畿地区国立大学体育大会結果について」に訂正及び追加があります。

《個人》陸上競技 女子 100m 第3位及び女子 走幅跳 第1位 宮田知佳さんの所属学部が違っていました。正しくは生活環境学部3回生です。お詫びして訂正します。

また、《個人》水泳 女子 100m 平泳 第2位及び女子 200m 平泳ぎ 第2位 で理学部3回生近藤優美さんが入賞されました。

「廣岡奨学金」について

廣岡奨学金は、本学卒業生 故 廣岡タマエ殿(徳島県出身、昭和4年奈良女子高等師範学校理科卒業)のご遺志による寄附金を基金とし、本学の学部学生で学業・人物ともに優秀であり、経済的理由により著しく修学が困難な者に奨学金を給付し、将来有望な人材を育成することを目的として設けられたもので、現在7名の学生がこの奨学金を受給しています。

この奨学金の募集は、2回生以上の学部学生を対象に毎年4月に行われます。詳しくは4月初旬に掲示によりお知らせします。

日本学生支援機構奨学金について

奨学金には地方公共団体が取り扱っている奨学金など各種ありますが、日本学生支援機構の奨学金制度は国の機関が取り扱っているものです。日本学生支援機構の奨学金には第一種(無利息)及び第二種(利息付)奨学金の二種類があります。

4月に新年度の奨学生の募集(定期)を行う予定です。また、家計急変による緊急及び応急採用もあります。その他、「在学届」の提出など、日本学生支援機構の諸手続きについても、全て学生生活課の掲示板(図書館東側)によりお知らせすることになっています。募集期間や提出期限等がありますから、自分にとって不利益にならないよう、見逃すこと無く情報を得てください。

学生相談室から

●学生相談室は、あなたのマインドスペースです。

学業や進路の不安、日常生活でこまったこと、対人関係など、さまざまな心配事について一緒に考えましょう。

話をきいてもらうだけでも、落ち着くこともあります。

相談室は、あなたの話にじっくり耳を傾けます。そのことで解決の糸口が見つかるかもしれません。相談の秘密は守られます。

内容に応じて適切な人や機関を紹介することもできます。

●開室日及び開室時間

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

夏期休業中は月曜と木曜のみ開室

8月第3週と第4週、12月29日～1月3日、入学試験日(前期・後期)は閉室します。

上記以外で閉室する場合は、構内掲示板や相談室前にその旨を掲示することにより、お知らせします。

学生相談室の場所は学生会館3階です。

TEL.0742-20-3925 Eメール soudan@cc.nara-wu.ac.jp

●スタッフ

■相談受付

金 文子(月曜日・水曜日・金曜日)

岩井涼子(火曜日・木曜日)

■カウンセラー

皆藤靖子(臨床心理士)

竹村百代(臨床心理士)

■相談員

千田春彦(教員)

柳澤 卓(教員)

佐野敏行(教員)



奈良女子大学
7630-8506 奈良市北魚屋西町
TEL0742-20-3235

発行日:2005年3月1日

発行:学生生活支援室

印刷所:共同精版印刷株式会社